

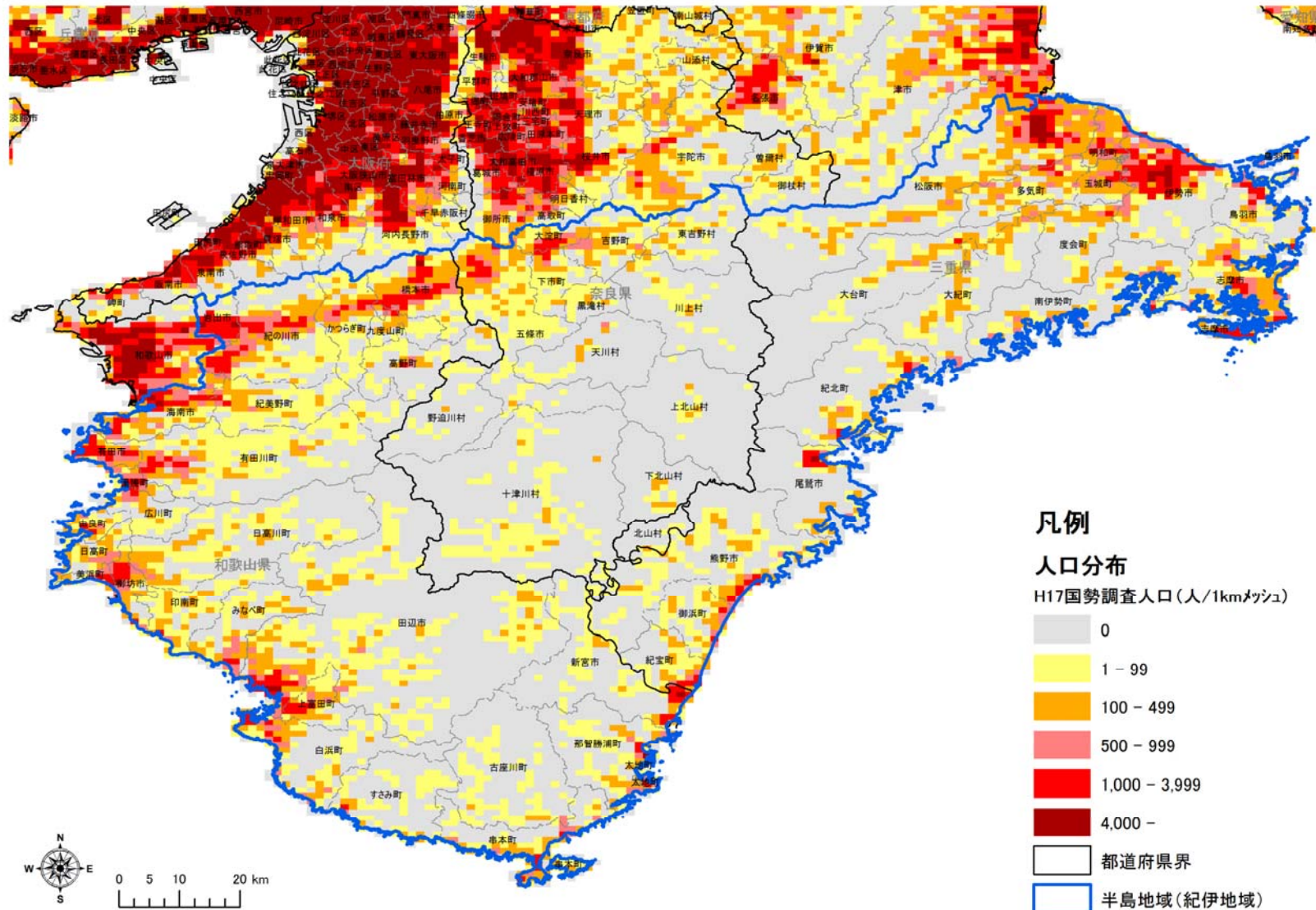
紀伊地域をめぐる状況について

国土交通省 国土政策局

平成24年11月23日

1. 人口密度

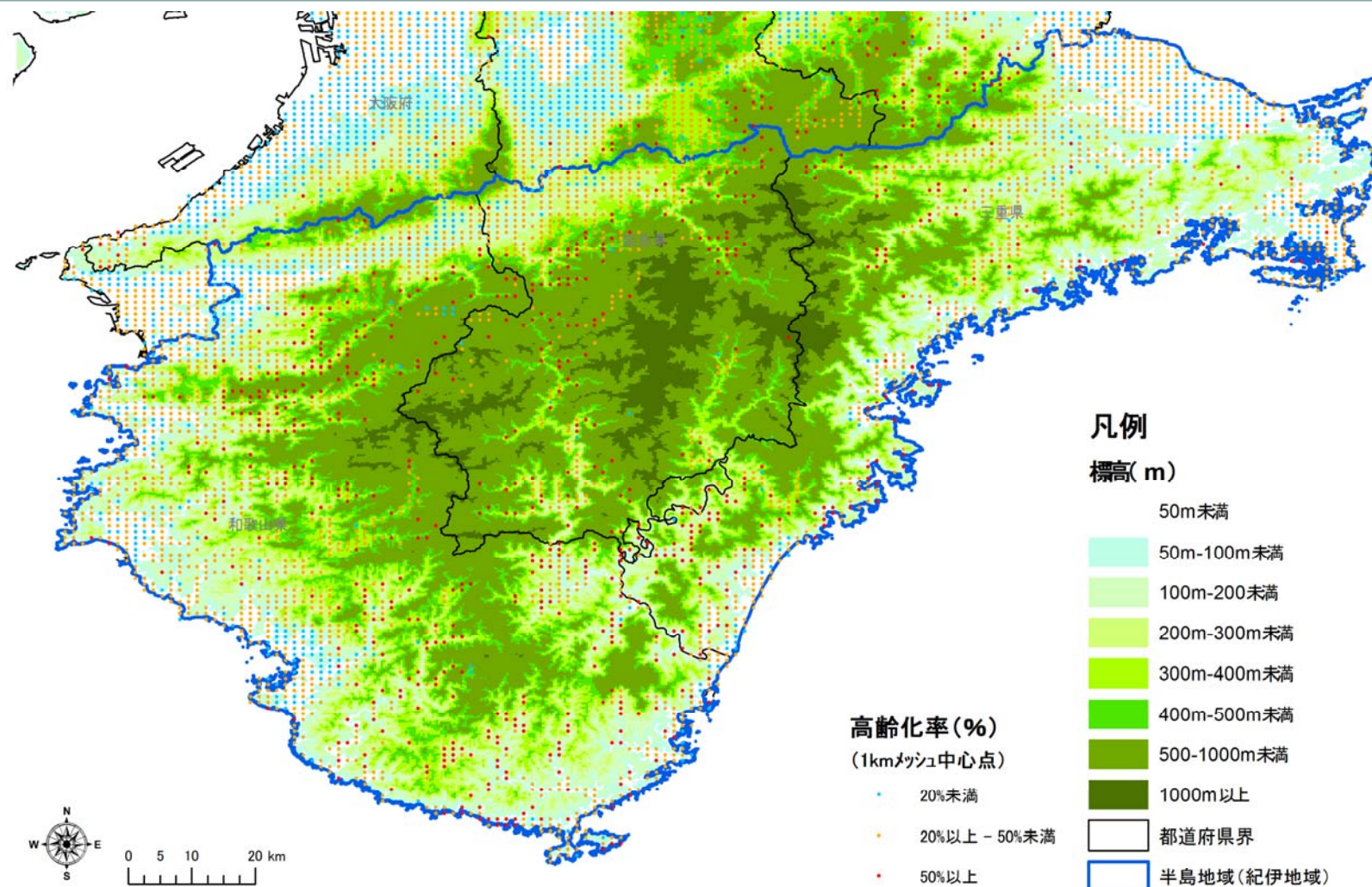
沿岸部に人口密度が比較的高い地域が分布している。



出典:総務省「国勢調査」(平成17年:1kmメッシュ集計)

2. 人口分布と自然地形(標高)

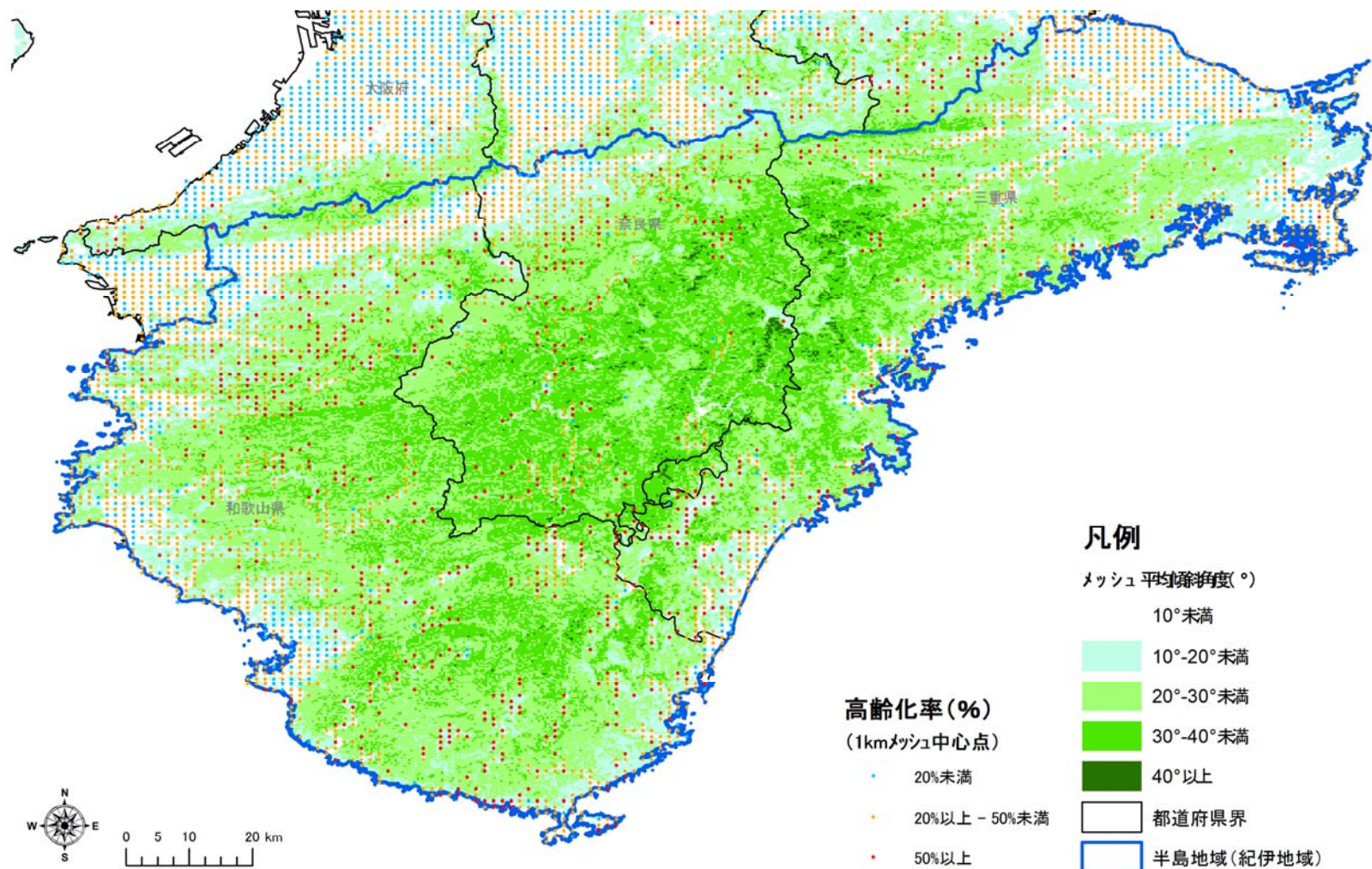
標高が高い内陸部や先端部に、高齢化率が高い地域が分布する傾向にある。



出典:総務省「国勢調査」(平成17年:1kmメッシュ集計)
 国土地理院「基盤地区情報数値標高モデル」メッシュ(平成23年)
 (国土交通省「国土数値情報」を利用)

3. 人口分布と自然地形(平均傾斜度)

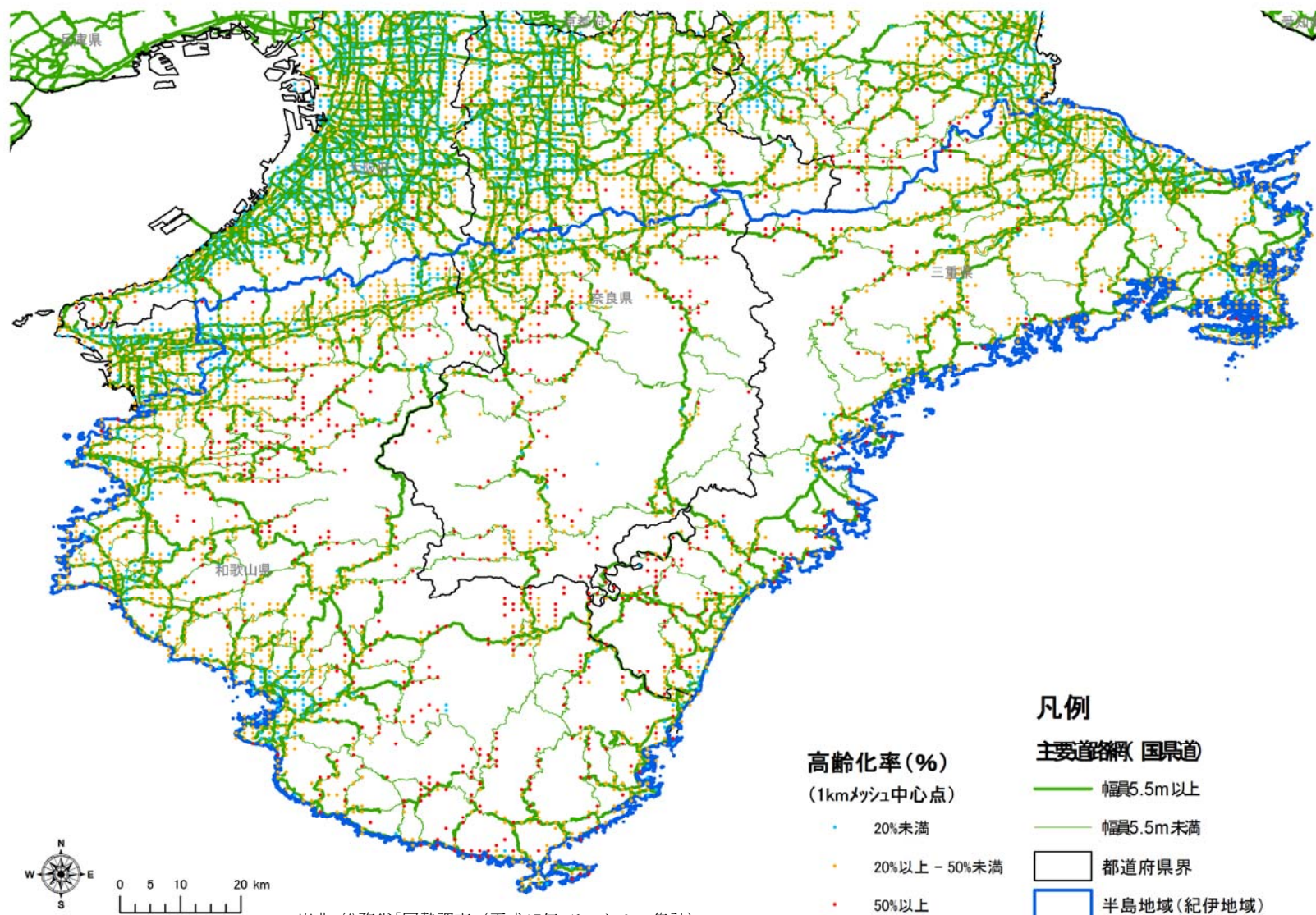
平地が少なく急峻な地形が見られる半島の先端部や傾斜度の大きい内陸部を中心に高齢化率の高い地域が分布している。



出典:総務省「国勢調査」(平成17年:1kmメッシュ集計)
 国土地理院「基盤地図情報数値標高モデル」メッシュ(平成23年)
 (国土交通省「国土数値情報」を活用)

4. 高齢化率の分布と道路網

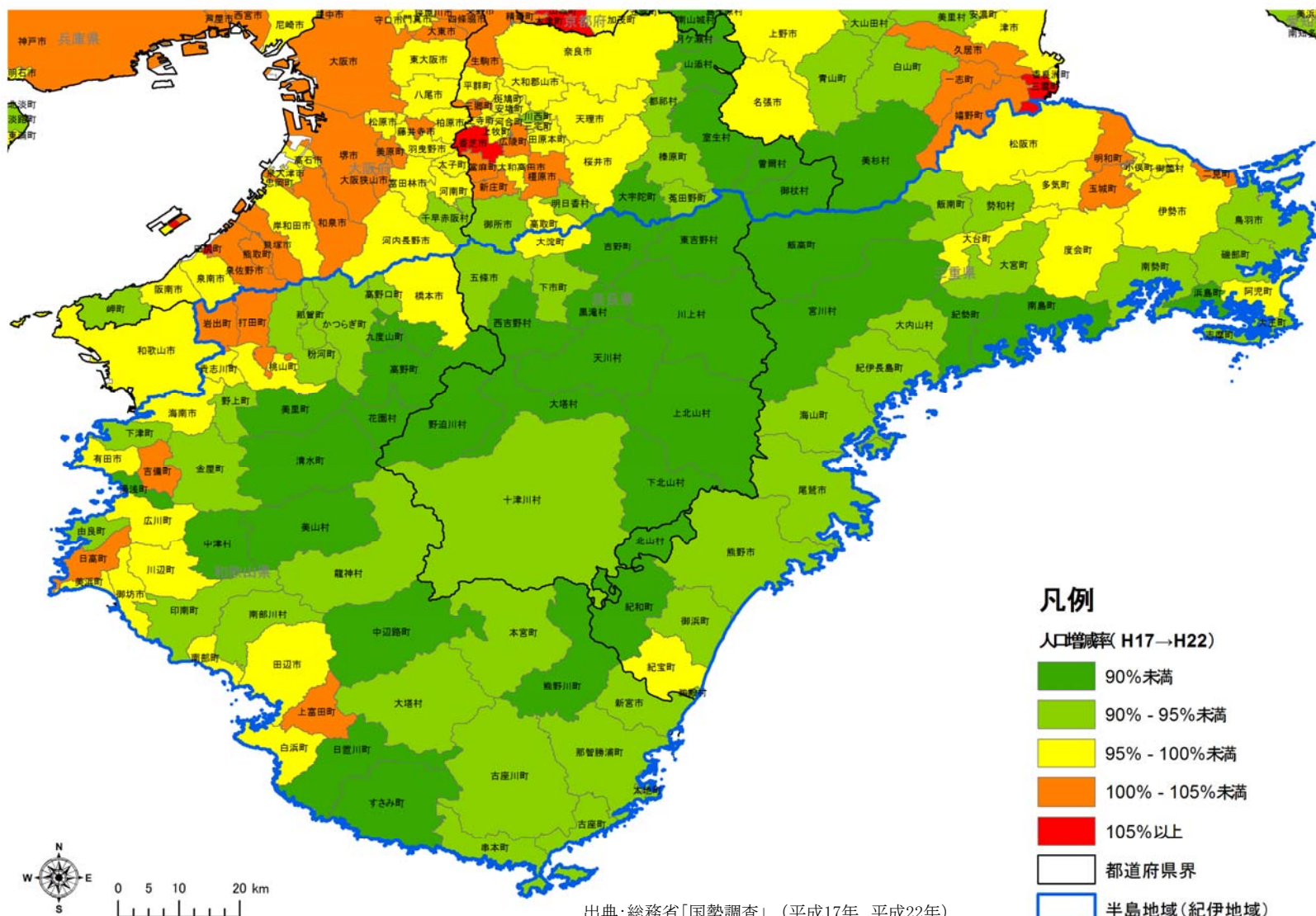
半島の内陸部の狭隘な道路の沿線にも高齢化率が高い地域が点在している。



出典:総務省「国勢調査」(平成17年:1kmメッシュ集計)
(財)日本デジタル道路地図協会「全国デジタル道路地図データベース」(平成22年8月)

5. 人口増減率

内陸部や先端部の地域ほど、人口の減少率が大きい傾向にある。

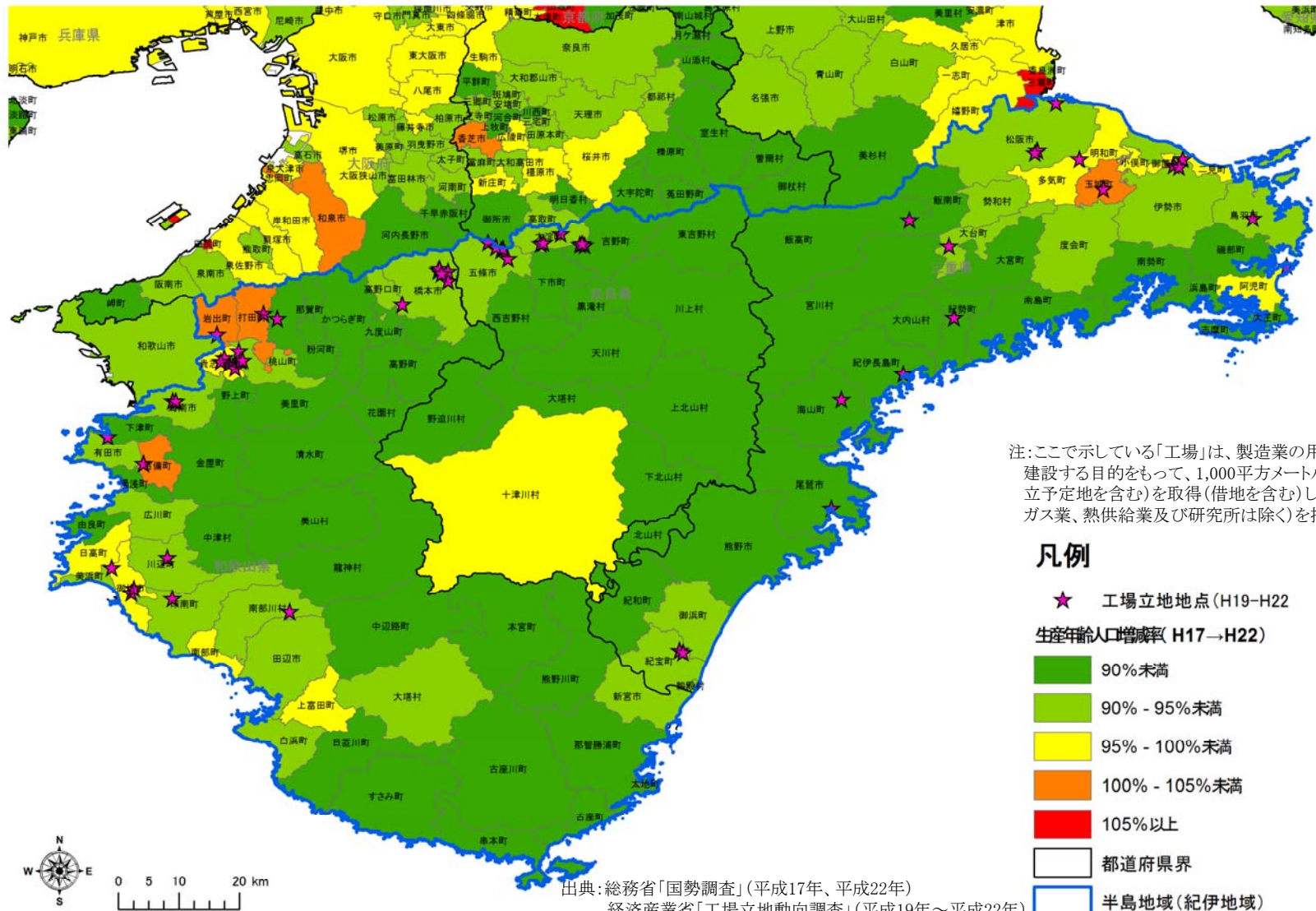


出典: 総務省「国勢調査」(平成17年、平成22年)

注: 半島地域の状況をより即地的に分析するため、平成12年10月1日時点の旧市町村単位で集計・表示している。

6. 生産年齢人口の増減率と工場立地

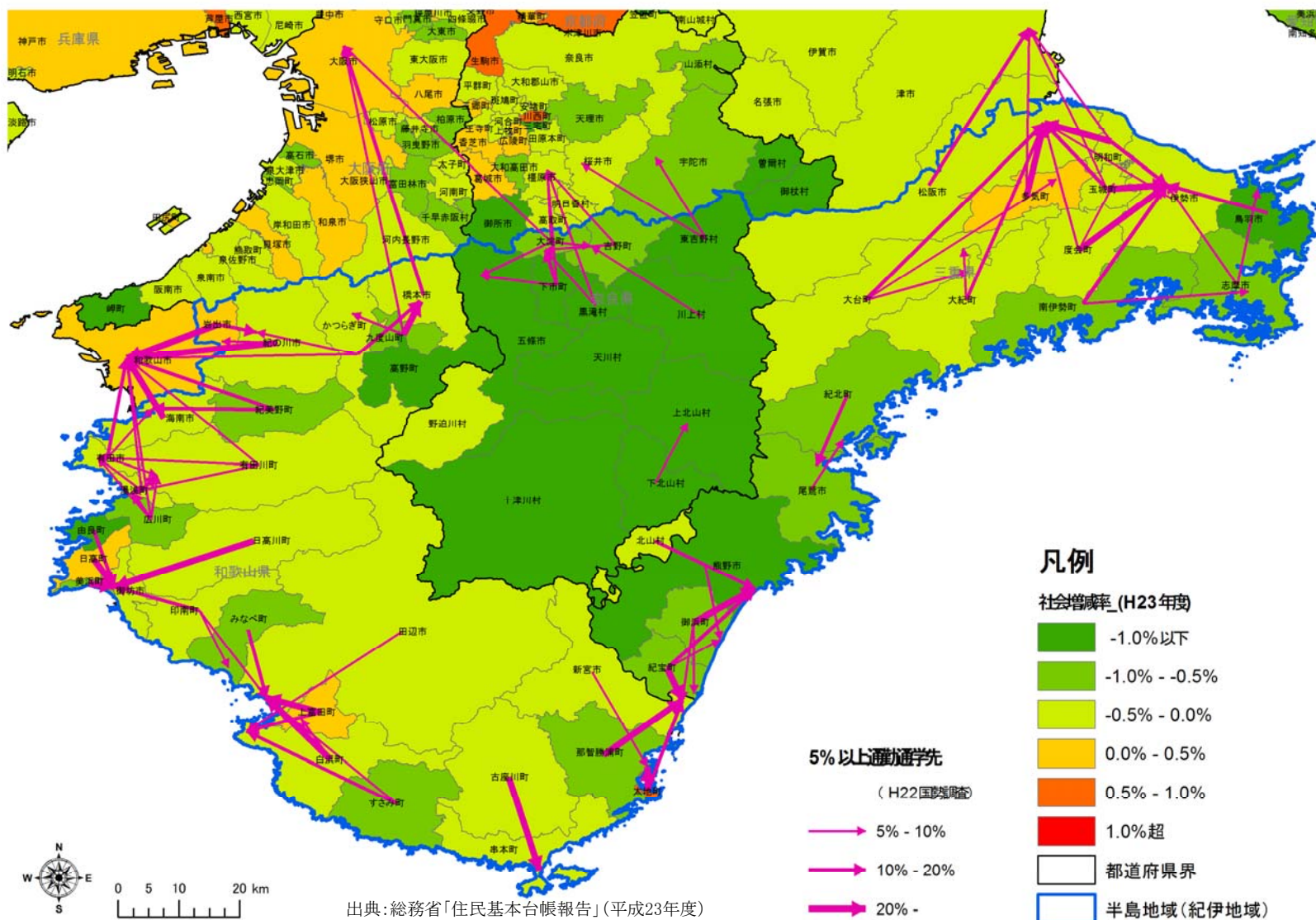
工場立地が見られる市町村では、生産年齢人口の減少率が比較的小さい傾向にある。



出典:総務省「国勢調査」(平成17年、平成22年)
 経済産業省「工場立地動向調査」(平成19年～平成22年)
 注:半島地域の状況をより即地的に分析するため、平成12年10月1日時点の旧市町村単位で集計・表示している。

7. 社会増減率と通勤・通学の動向

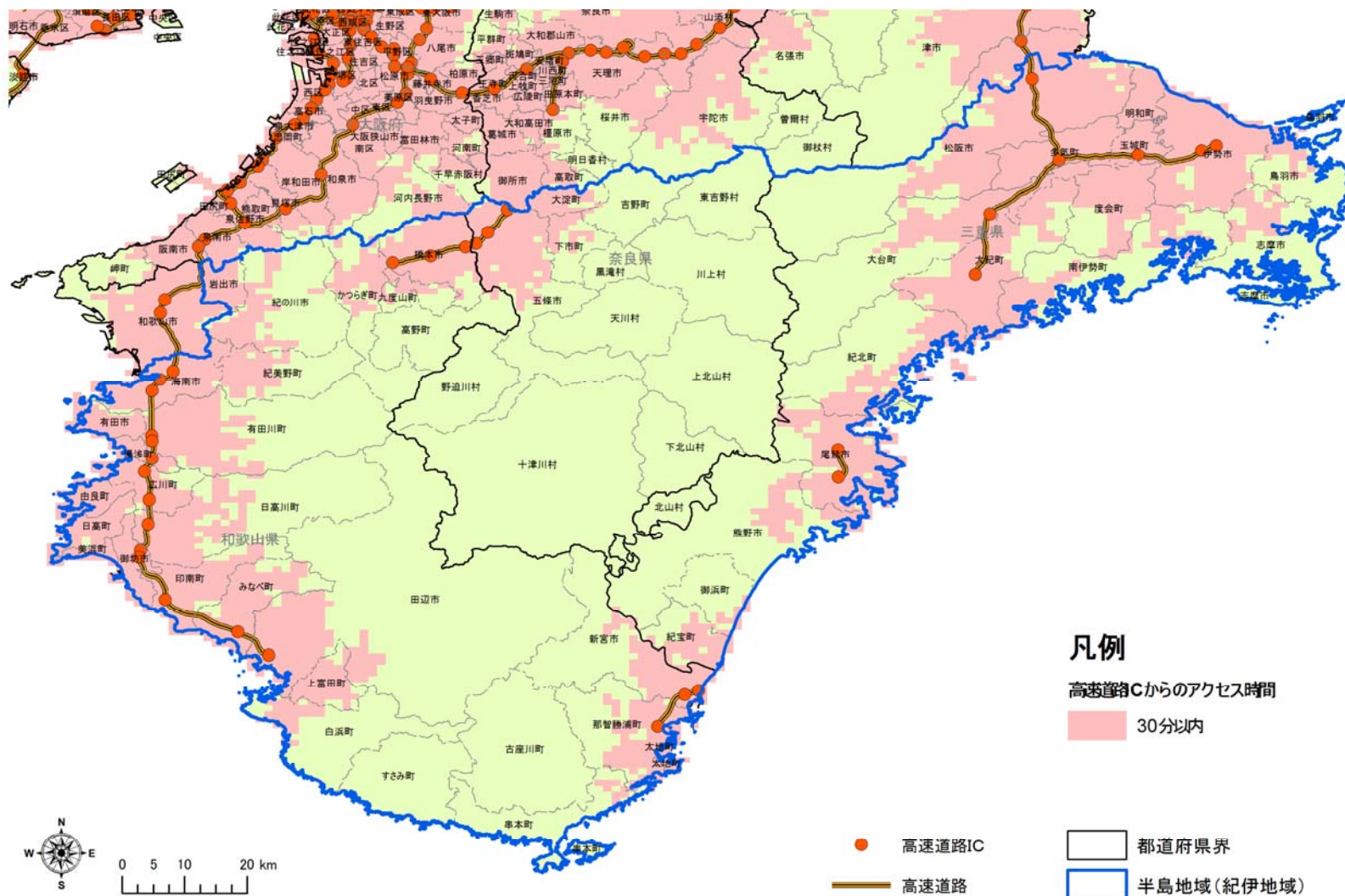
内陸部の周辺市町村から沿岸地域へ通勤通学する傾向が見られる。



出典:総務省「住民基本台帳報告」(平成23年度)
総務省「国勢調査」(平成22年)

8. 高速道路のICからの30分アクセス圏

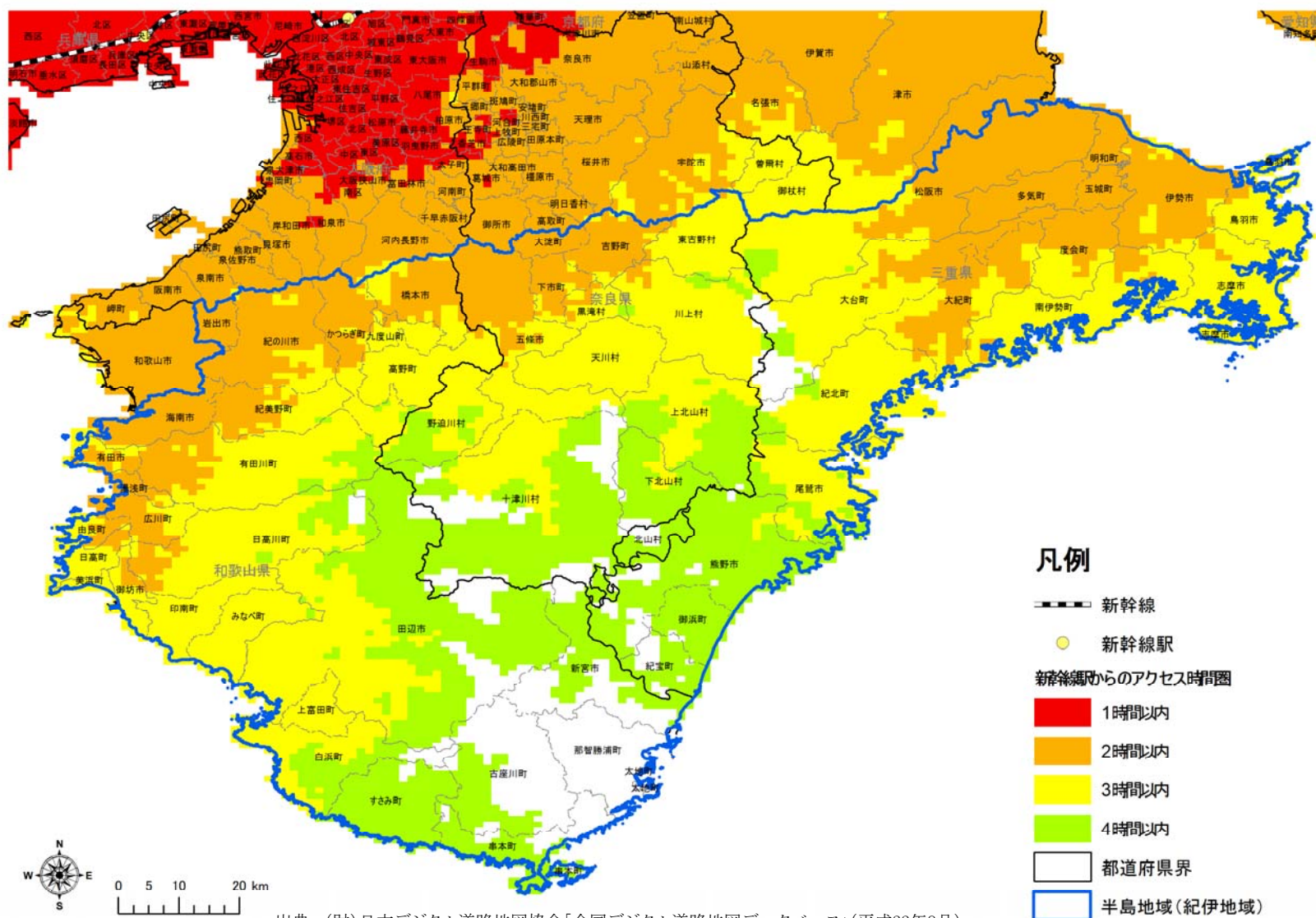
高速道路ICからの30分アクセス圏内にない地域も多く存在する。



出典: (財)日本デジタル道路地図協会「全国デジタル道路地図データベース」(平成22年8月)
 PASCO社「MarketPlanner®」を用いて、1kmメッシュごとに最寄りのICからの運転時間距離を算出

9. 新幹線駅からのアクセス時間

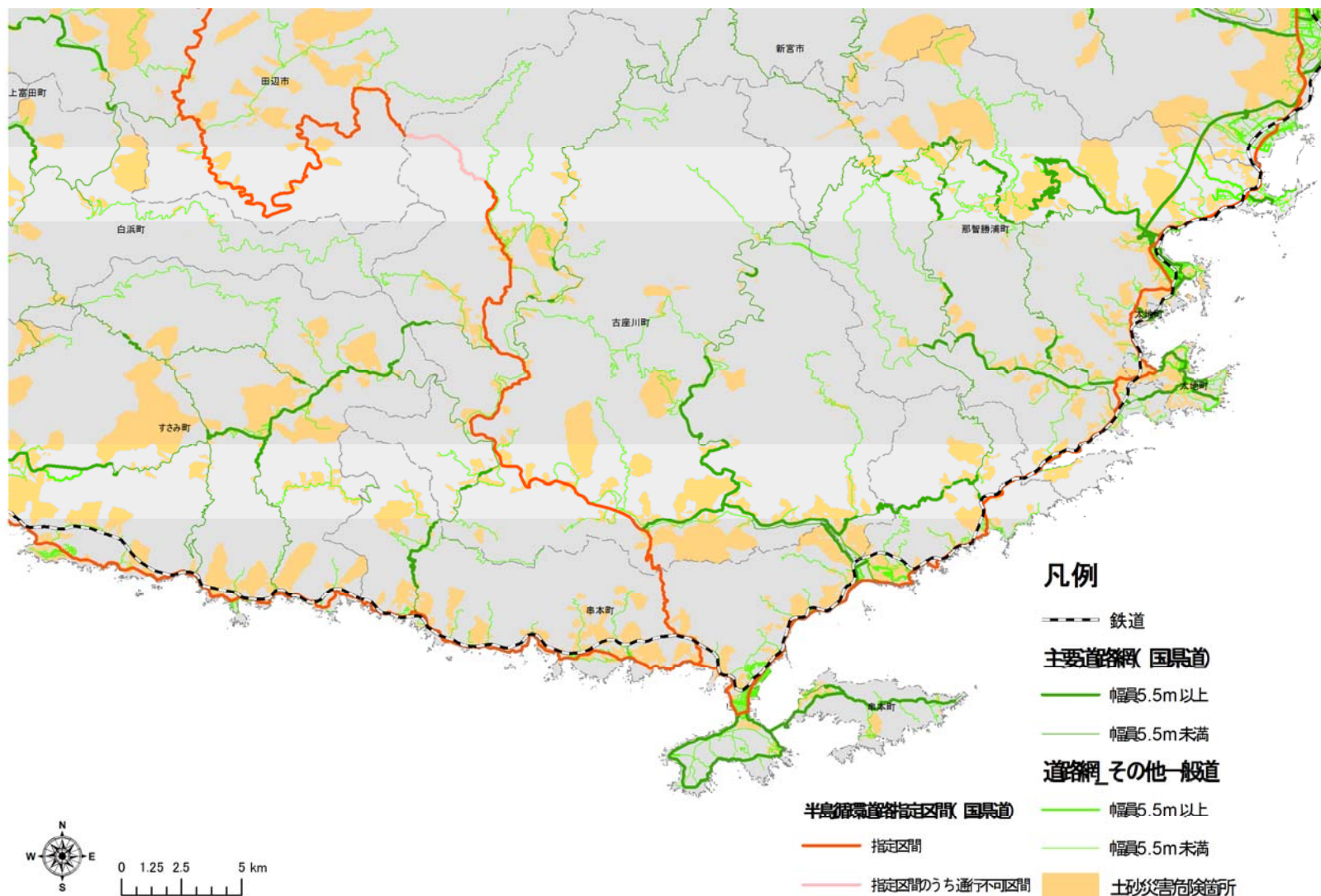
半島の先端部では、新幹線駅から4時間以上を要する地域がある。



出典：(財)日本デジタル道路地図協会「全国デジタル道路地図データベース」(平成22年8月)
PASCO社「MarketPlanner®」を用いて、1kmメッシュごとに最寄りの新幹線駅からの運転時間距離を算出

10. 紀伊半島南部の土砂災害危険箇所と道路網

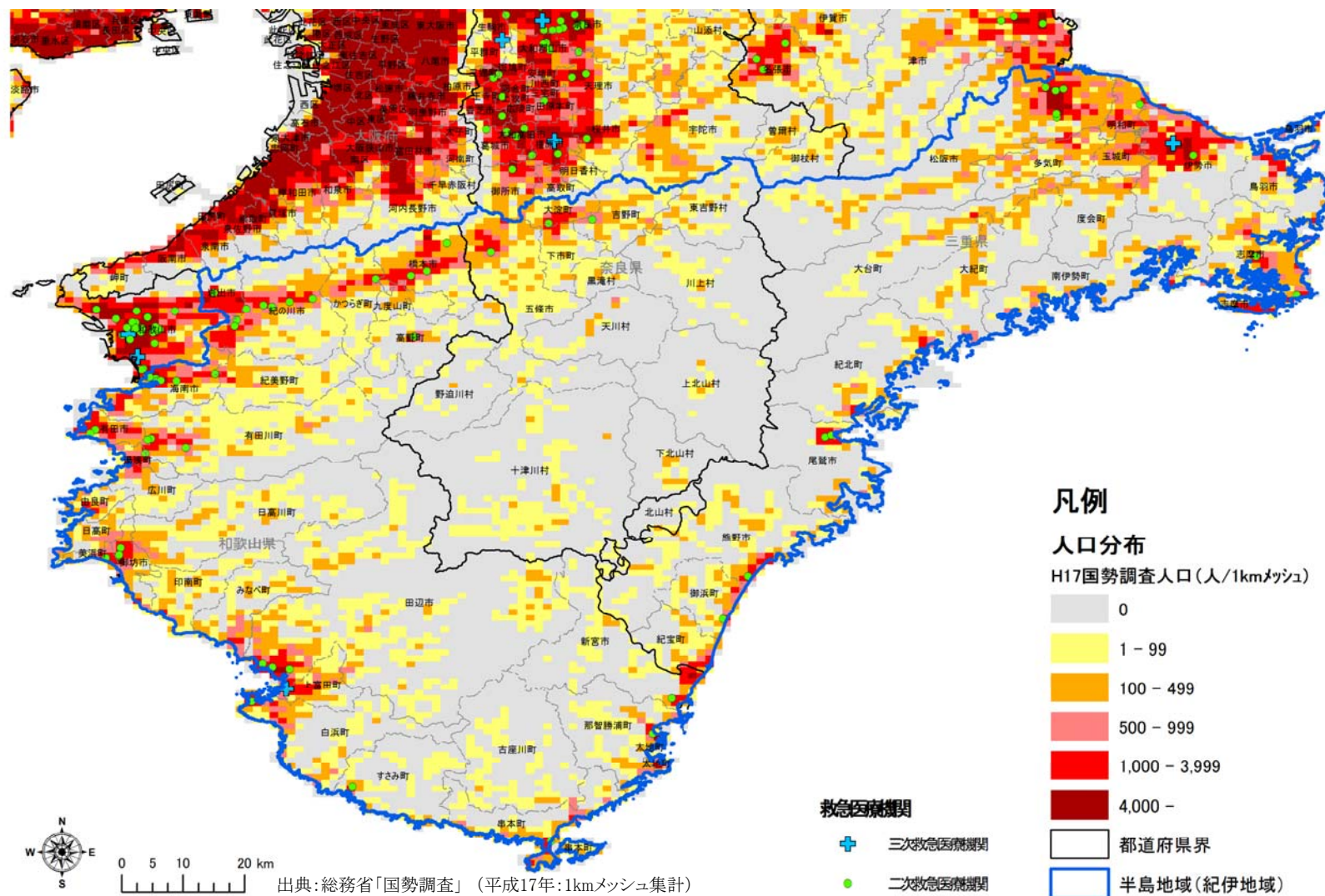
半島循環道路等の基幹的な道路の沿道でも土砂災害の危険を有する地域が多く、被災により通行止めが発生した場合、地域の交通に大きな影響を及ぼす可能性が高い。



出典：国土交通省「国土数値情報 土砂災害危険箇所（土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所）」（平成22年度、和歌山県資料（平成10～13年度調査）より作成）

11. 人口分布と医療機関(救急医療機関)

救急医療機関は沿岸部を中心に立地しており、内陸部などアクセスが困難な地域も多い。



出典: 総務省「国勢調査」(平成17年:1kmメッシュ集計)

国土交通省「国土数値情報」医療機関データ

【救急医療機関について】

日本救急医学会「全国救命救急センター一覧」(2011年12月1日現在)

三重県「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」医療機関リスト、奈良県「救急告示病院一覧」、和歌山県「救急医療機関一覧」